

【対象】2023 年度 博士課程後期課程 1 年次 入学者

一貫制博士課程 3 年次 進級者・転入学者

2023 年 10 月 立命館大学学生オフィス

2023 年度（令和 5 年度）日本学生支援機構 大学院貸与奨学金 博士課程後期課程

「特に優れた業績による返還免除」 ＜採用時 返還免除内定候補者＞ 募集要項

この制度は、2023 年度、博士課程後期課程または 4 年生博士課程の 1 年次に入学、もしくは一貫制博士課程 3 年次に進級・転入学した者で、大学院 第一種 奨学金の貸与を受けている学生が対象となり、在学中に十分な業績を挙げる見込みのある者として日本学生支援機構（以下、「JASSO」）が認定した場合に、奨学金の全部または一部の返還免除が内定されるものです。

研 究 科	出願場所 ・ 問い合わせ先
衣笠キャンパス所属の研究科	衣笠学生オフィス （研心館 2 階） 〒603-8577 京都市北区等持院北町 5 6 - 1 立命館大学 衣笠学生オフィス 大学院奨学金係 TEL：0 7 5 - 4 6 5 - 8 1 6 8（直通）
びわこ・くさつキャンパス所属の研究科	BKC 学生オフィス （セントラルーク 1 階） 〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1 - 1 - 1 立命館大学 BKC 学生オフィス 大学院奨学金係 TEL：0 7 7 - 5 6 1 - 2 8 5 4（直通）
大阪いばらきキャンパス所属の研究科	OIC 学生オフィス （A 棟 1 階 AS 事務室内） 〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150 立命館大学 OIC 学生オフィス 大学院奨学金係 TEL：0 7 2 - 6 6 5 - 2 1 3 5（直通）
出願期間	2023 年 11 月 6 日（月）～11 月 8 日（水） 9:30～11:30、12:30～17:00 火曜のみ 12：30～17：00 （注 1） <u>原則、窓口提出。</u> 留学中や遠方の方で来校困難な場合は、 必ず事前に学生オフィスまで相談してください。 （注 2）11 月 7 日（火）の受付は 12：30～17：00 です。 午前中は閉室していますので注意してください。

※ 出願期間を過ぎてからの出願は一切受け付けません。

※ 期間内に一部提出できない書類がある場合は、必ず上記《問い合わせ先》へあらかじめ相談してください。

I. 制度概要

(1) 内容

2023 年度、博士課程後期課程または 4 年制博士課程の 1 年次に入学、もしくは一貫制博士課程 3 年次に進級・転入学した者で、大学院**第一種** 奨学金の貸与を受けている学生が対象となり、在学中に十分な業績を挙げる見込みのある者として JASSO が認定した場合に、奨学金の全部または一部の返還免除が内定されるものです。

(2) 内定候補者数

1 名

(3) 返還免除額

免除額については、貸与終了時に、再度、研究業績等を大学に提出し、審査により全額もしくは半額免除が決定します。

(内定後、貸与終了年度の 2 月頃に「特に優れた業績による返還免除」への出願が必要となります。)

II. 出願資格

2023 年度に博士課程後期課程または 4 年制博士課程の 1 年次に入学、もしくは一貫制博士課程 3 年次に進級・転入学した者で、大学院**第一種**奨学金の貸与を受けている者

※1. 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」または「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の採択を受けて本学が実施している「NEXT 学生フェロー」または「RARA 学生フェロー」として支援を受けた者は、「特に優れた業績による返還免除制度」の対象外になります（一貫制博士課程で 2022 年度以前に第一種奨学金に採用となった方を除く）。

※2. 第一種奨学金（海外大学院学位取得型対象）および第一種奨学金（海外協定派遣対象）の採用者は対象となりません。

※3. 2023 年度中（2023 年 4 月～2024 年 3 月）に貸与を終了する方は対象となりません。その場合、従来制度（2024 年 2 月＜予定＞に出願締切りとしている 2023 年度(令和 5 年度) 日本学生支援機構大学院貸与奨学金「特に優れた業績による返還免除」）へ出願が可能です。

III. 返還免除の内定候補者の選考・決定

(1) 返還免除者の最終決定

本制度に出願した者の中から、大学が選考を行い「返還免除 内定候補者」として機構へ推薦します。大学からの推薦者について、JASSO にて最終的な認定（決定）が行われます。また、免除額の全額もしくは半額については、貸与終了年に、再度、研究業績等を大学に提出し、審査を行った上で、JASSO が決定します。

(2) 大学から JASSO への推薦者決定（学内選考方法）

大学から JASSO への推薦者は、出願者が所属する各研究科委員会での選考を経たのち、学内選考委員会において決定します。

<学内選考方法>

書類選考（一次選考）および面接選考（二次選考※）により決定

※**面接選考（二次選考）について**

二次選考（面接）12 月中旬～1 月中旬に実施予定です。対象者には、12 月初旬頃に詳細を個別通知（電話または学内メールアドレス）します。面接にあたり、別途、書類の提出を求めることがあります。

IV. 【重要】内定取消について

- (1) 貸与期間中に、懲戒などで奨学金の停止・廃止の決定を受けた場合、内定が取り消されます。
- (2) 修業年限内（3年。薬学研究科薬学専攻は4年）で学位取得（論文等の審査合格）できなかった場合、内定が取り消されます。その場合は、従来の返還免除制度（貸与終了時での出願・審査）に出願できます。
- (3) 内定者が国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」または「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の採択を受けて本学が実施している「NEXT 学生フェロー」または「RARA 学生フェロー」として支援を受けた場合は、業績免除対象外となります。
- (4) 内定取り消しになった場合でも、貸与期間終了年度に「特に優れた業績による返還免除」を申請することは可能です。

※内定取消の対象でない例

日本学術振興会の特別研究員に採用されたため奨学金を辞退した場合のように、修業年限の途中で貸与終了した場合であっても、修業年限内で課程を修了する見込みであると大学が認めた場合は、内定取消の対象とはなりません。

V. 出願書類

以下の書類を期日までに不備なく提出してください。※ 一度提出された書類は返却しません。

	提出が必要な申請書類
①	出願票
②	博士課程進学に伴う採用時返還免除内定候補者に係る申請書（様式 2）
③	成績証明書（修士課程）※原本を提出
④	業績申請書（様式 A） ※必要に応じて業績の証明書表紙（様式 B）を使用のこと

※生命科学研究科の方は、上記に加え「研究科独自書類」の提出が必要です。

詳細は生命科学事務室に問い合わせてください。

① 出願票

必要事項を記入し、提出書類はチェックをして、提出漏れのないようにしてください。

② 博士課程進学に伴う採用時返還免除内定候補者に係る申請書（様式 2）

巻末の「記入例」を参考してください。

手書きの場合、黒のボールペンで丁寧に記入すること（消せるボールペンでの記入は不可です）。

本学 WEB ページトップ→学生生活・就職→奨学金制度→経済支援型奨学金 NEWS
→2023.10.03「2023 年度 日本学生支援機構 大学院貸与奨学金「特に優れた業績による返還免除＜採用時返還免除内定制度＞」の募集要項を公開しました→③申請書 様式 2

※インターネットで「返還免除」を検索すると年度の古い申請書が出てくる可能性がありますので注意してください。

③ 成績証明書

博士前期課程・修士課程（薬学研究科薬学専攻は学士）の成績証明書の原本を提出してください。

④ 業績申請書（様式 A【両面】）

○ 手書きの場合、黒のボールペンで丁寧に記入してください（消せるボールペンでの記入は不可です）。

○ 「博士課程における研究課題等」「修士課程における研究課題」（様式 A【表】）

博士課程の研究テーマ、修士課程（薬学研究科薬学専攻の場合は学士課程）の研究テーマを書き、その概要を記入してください。

○ 業績の要旨（様式 A【裏】）

業績については、「様式 A」裏面の＜記入上の注意＞を確認し、＜記入例＞を参考に箇条書きで記入してください。

＜業績の証明書表紙＞（様式 B）

特に優れた業績の要旨（様式 A【裏】）に記載した業績全てに対し、それを証明する資料の提出が必要です。証明する各資料の一番上に、「業績の証明資料（表紙）」（様式 B）をそれぞれ添付してください。表紙に記載する No.は特に優れた業績の要旨（様式 A【裏】）の番号に必ず対応させてください。

VI. 選考結果の通知

【大学による】返還免除 内定候補者 結果(採否)通知（大学が内定候補者として JASSO へ推薦する段階の通知）

通知発送日：2024 年 4 月上旬に発送予定

通知方法：申請者全員。大学に登録された本人住所宛に、書面（郵送）にて通知します。

【JASSO による】返還免除者 内定者決定通知

通知時期：2024 年 5 月以降

通知方法：上記の JASSO への推薦者のみ大学に登録された本人住所宛に、書面(郵送)にて通知します。

以上

令和5年度 博士課程進学に伴う採用時返還免除内定候補者に係る申請書

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿			
本申請書記載事項に相違ありません。 博士課程進学に伴い、返還免除の内定候補者として申請します。 なお、当該課程において返還免除の内定を受けた後、返還免除候補者としての推薦を受けるまでの間に、貴機構が定める「停止」又は「廃止」に該当するとき、修業年限内で課程を修了（学位を取得）できなくなったとき（修業年限内で課程を修了できないことが、災害、傷病、感染症の影響その他のやむを得ない事由によるものと認められるときを除く。）、又は、貸与期間終了時における業績優秀者返還免除の申請をしなかったときは、返還免除の内定が取り消されることに同意します。			
			提出年月日 西暦 2023年 月 日
大 学 院 名	立命館大学 大学院		研究科名 専攻名 〇〇研究科
奨学生番号	6 2 3 0 6	生 年 月 日	西暦 年 月 日
フリガナ 氏 名	第一種奨学金の奨学生番号を記載してください。 学生証番号ではありません。		
課 程 (該当するいずれかの □を■にすること)	☒	博士・博士後期課程	☐ 博士・医・歯・薬・獣医学課程
	☐	一貫制博士課程（後期課程相当進級） 学生証番号を記載してください。	
入 学 年 月	令和 5 年 月	学 籍 番 号	
国立研究開発法人科学技術振興 に向けた大学フェローシップ創設 を受けておりません。（受けていな		一貫制博士課程の方は3年次に進級し た 年月を記載してください。	
		ノベーション創出に 「プログラム」の支援を	☒

【記入上の注意】

- 一貫制博士課程の後期課程相当年次に進級の場合、「入学年月」欄には、後期課程相当年次に進級した年月を記載してください。
- 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援を受けた場合は本申請はできません。また、内定者となったあとにこれらの支援を受けた場合は返還免除の申請は出来ません。
- 本用紙への記入は、全て申請者本人による手書きまたはパソコン入力 of いずれも可とする。